



茨城県教育目標

- ひとりひとりの能力を開発し、豊かな人間性をつちかう。
- じょうぶな身体をつくり、たくましい心を養う。
- 郷土を愛し、協力しあう心を育てる。

いばらき教育プラン 2022-2025

＜基本理念＞

『 活力があり、県民が日本一幸せな県 』

- 「知・徳・体」バランスのとれた教育の推進
- 新しい時代に求められる能力の育成
- 地域力を高める人財育成
- 時代の変化に対応した学校づくり
- 次世代を担う「人財」の育成と自立を支える社会づくり

学校の教育目標

自ら学び、心身ともに健康で、人間性豊かな生徒を育てる。

＜校訓＞ 「誠意」「温情」「勇氣」

目指す生徒像

- ・自ら精一杯学び続ける生徒
- ・心豊かで温情あふれる生徒
- ・心身ともにたくましい生徒

目指す学校像

- ・信頼される学校
- ・きれいな学校
- ・あったかい学校

目指す教師像

- ・情熱あふれる教師
- ・信頼される教師
- ・人間性豊かな教師

稲敷市教育振興基本計画〈第3期R6～R9〉

＜基本理念＞

郷土を愛し 未来にはびたく しなやかな人づくり

＜基本目標＞

■重点的取組

- 未来を担ういなしきっ子の育成
 - 「稲敷市に生まれてきてよかった」「ずっと住んでいたい」と感じる郷土教育の充実
 - 課題解決に向けて、自ら考え表現するいなしきっ子の育成
- いなしきっ子が学ぶ質の高い教育環境の充実
 - グローバル人材を育成する教育の充実
 - 各教科の特質を踏まえた1人1台端末の活用の推進
 - 一人一人の教育的ニーズに応じた指導の充実
- 地域社会と連携した教育環境の充実
 - きめ細かな家庭教育の充実
 - 地域とともにある学校づくり・学校を中心とした地域づくりの実現
- 社会教育の振興と芸術・文化活動の充実
 - 公民館を核とした「学びをとおしたつながり」とまちづくり
 - 誰もがいつでもどこでも学べる社会教育環境づくり
 - みんなで育む芸術文化と歴史文化の振興
- 生涯スポーツの振興と環境の整備
 - するスポーツの充実・みるスポーツの充実を目指す
 - ささえるスポーツの充実を目指す

経営の基本方針

＜基本理念＞ 誰一人取り残さず、生徒の成長を支援する 「新中プライド：生涯にわたって役に立つ学び」

＜経営方針＞

- すべての生徒をすべての教職員で育てる組織的な指導体制のもと、教職員と生徒がともに、創意と工夫を生かし、「自分で」「自分たちで」学校を創り上げていると実感できる学校づくりに取り組む。
- 「生徒がわかる楽しさを味わえる授業」「感動のある教育活動」を実現し、生徒を主役とした学校づくりに取り組む。
- じょうぶな身体と豊かな心をもった生徒が育つ学校づくりに取り組む。
- こ幼保小中連携の取組を積極的に推進し、家庭・地域とともに歩む学校づくりに取り組む。

経営方針の具現化のために

組織的・継続的な指導体制と創意工夫を生かした学校づくり

○ 信頼される教職員組織

- ・不祥事を絶対に起こさない、教職員の服務規律の確保（「コンプライアンスだより」等による危機管理の徹底、風通しの良い職員室）
- ・教員評価の活用による教員の資質・能力の向上と社会人としての「凡事徹底」（「品格のあるコミュニケーション力」を身につけた教職員集団）
- ・教職員としての力量を磨く研修へのチャレンジ（生徒の活躍を生み出す授業改善、改革心をもった教職員組織、関係機関との連携強化）

○ 安全・安心で誰からも信頼される魅力ある学校

- ・主体性を重視した魅力ある授業づくりと常に生徒に寄り添った、スピード感と機動力のある組織〔チーム〕対応（相互授業参観の推進、主任を中心とした校内組織の充実）
- ・教職員が子供たちと向き合う時間の確保（業務の精選、業務の効率化への意識向上と働き方改革の推進 ※働き方改革の意識向上に係る個人目標の達成率100%をめざす）
- ・地域と連携し、地域とともにある教育活動の展開（「新利根地区学校運営協議会」との連携、こ幼保小中連携事業の推進）

学校の組織目標

- 自ら考え、行動し、努力できる生徒が育つ教育活動を展開する。
- 「拡がる授業」への授業改善により、知識活用力の向上を図る。

確かな学力の定着

- 研究テーマ「主体的に学習に取り組む生徒の育成」～STEAM教育の視点と自らの考えを表現する学習活動の充実を通して～
- 生徒を主体とした授業の実現
 - ・わかる楽しさを味わえる授業、拡がる授業
 - ・課題の工夫（解決に必要な知識・技能の明確化）
 - ・定着や活用の場、書いて表現する活動の充実
- ※工夫した拡がりのある授業づくり
- インクルーシブ教育の充実
 - ・個別の指導計画に基づく個別支援の充実
 - ・社会的な自立に向けた教育活動の展開
- 生徒の学びを一人残らず支援する体制づくり
 - ・「生活の記録」を活用した学習習慣の確立
 - ・読書活動の推進

豊かな心の育成

- 教育活動全体を通して行う道徳教育の推進
 - ・生徒の考えの計画的な蓄積と評価
 - ・気づき、感謝、思いやりの心を育てる無言清掃、ボランティア活動の実施
- 特別活動の推進
 - ・学級活動における話し合い活動の充実
 - ・生徒会や実行委員会による、生徒が自分たちで創り上げる学校文化の支援
- 心の居場所となる学級・学年・学校づくり
 - ・自己有用感と所属感を高める支援の充実（Q-U調査の活用、認め・励まし・伸ばす指導）
- 将来の自立に向けたキャリア・パスポートの継続的活用と積み上げ

健やかな体の育成

- 健康の保持増進と安全指導
 - ・基本的生活習慣の確立（食育：早寝・早起き・朝ごはん運動）（学校保健委員会の活用）
 - ・生活安全、交通安全、防災・防犯教育（安全点検、登下校指導、避難訓練、引渡し）
 - ・感染症予防の具体的な取組
 - ・家庭、関係諸機関との連携
- 体育・運動部活動の充実
 - ・安全かつ運動量の多い体育の授業の充実
 - ・主体的に取り組む魅力ある部活動の運営
 - ・目標達成に向けた効率的な練習の実現と望ましい人間関係の醸成

学校経営の土台（4つの柱）

○ 一人一人を大切にする学校

- ・人権教育の充実
- ・特別支援教育の充実

○ 安全・安心な学校

- ・安全教育の充実
- ・学年、学級経営の充実

○ 地域とともにある学校

- ・こ幼保小中連携の充実
- ・新利根地区学校運営協議会との連携と活用
- ・地域との連携、協働（学校防災会議、合同引渡し訓練、草刈りボランティア等）

○ 学び続ける学校

- ・校内研修の充実
- ・教員評価を生かした人財の育成